

提 案 の 概 要

施設名：名楽福社会館

団体名：名古屋市中村区社会福祉協議会

1 福社会館業務

(1) 管理運営全般について

①施設管理運営の基本方針等

高齢者の生きがいがづくり・健康づくり・地域福祉推進の拠点として、「生きがいのある生活」と「地域へのつながり」を促進し、高齢者福祉の一層の充実を目指します。

【基本方針】

- 地域福祉活動の担い手の育成
- 高齢者の相談窓口
- 地域の高齢者福祉のネットワークづくり
- 他の区社会福祉協議会が運営する福社会館との一体的な取り組み

【利用者の視点を踏まえた考え】

- 新しい人生のきっかけづくり
- 役に立つ情報の提供
- 気軽に相談できる・雰囲気・体制
- 楽しさと張り合いを得ることができる施設
- 安全、安心して利用できる施設

②管理運営体制（職員配置及び人材の確保・育成計画等）

経験と熱意のある職員の配置

高齢者福祉に経験と熱意があり、かつ必要なスキルを身につけた職員を配置します。

社会福祉協議会のスケールメリットを活かした人材の確保・育成

社会福祉協議会のスケールメリットを活かした採用、研修により、優秀な人材の確保と専門性の向上を図り、常に質の高いサービスが提供できるように努めます。

(2) 事業運営の実施計画について

①生活相談及び健康相談

利用者の話に耳を傾けることで、身体的、精神的な負担の軽減を図ります。また、相談に的確に対応できるよう、幅広い情報収集に心がけるとともに、職員の資質向上を図ります。

【生活相談】

- 悩みや困りごとを抱え込んでいる高齢者を早期に発見し、相談に応じます。
- 寄せられる様々な相談に的確な情報提供を行います。
- また、必要に応じて本会の持つ機能や関係機関と連携して問題の解決を図ります。

【健康相談】

- 名古屋市医師会の協力を得て月2回実施します。
- 主治医とは違った観点で利用者に健康に関するアドバイスをを行います。

②教養の向上及びレクリエーション等に関する事業

【ねらい】

- 利用者の趣味や教養の幅を広げます。
- 利用者が生きがいを見つけ、張りのある楽しい人生を送るきっかけをつくります。
- 併せて、地域での活動にも結びつくような取り組みを進めます。
- 生活や心身機能の維持・向上を図ります。
- 高齢者を取り巻く様々な不安要素を取り除くことのできる取り組みを進めます。

【主な事業】

- 人気のある講座を引き続き開催するとともに、新たな講座（ふれあい囲碁講座等）を開催します。
- 新規の単発講座（ちょっと来て講座：体操、工作、講話等）を開催し、利用者に様々なメニューを提供します。
- 同好会活動を活性化し、利用者の選択肢を増やします。
- 交通安全、防犯、防災に関する講座を開催します。

③機能回復訓練の実施

介護予防の観点から、健康体操やストレッチを中心としたプログラムを実施します。

④その他の事業

上記①～③のほか、「健康づくり」「仲間づくり・憩いの場」「地域や施設との連携事業」「利用促進のための事業」に取り組みます。

【健康づくり】

- 1 健康講話
- 2 体操教室

3 回想法

高齢者の健康づくり・介護予防、仲間づくりのために実施するとともに、回想法を通じた利用者同士のグループ化を図り、本会ボランティアセンターと連携して、地域における回想法の拡がりを目指します。

【仲間づくり・憩いの場】

- 1 新規利用者の獲得とより多くの人を知り合えるきっかけの提供
- 2 過ごしやすい環境の保持とくつろげる雰囲気づくり

3 高齢者サロンの開設、実施

居場所づくりの一環として、平成28年度上半期を目途に高齢者サロンを開設し、月2回以上開催します。

【地域や施設との連携事業】

1 中村児童館との交流事業

高齢者の孤独感の解消及び児童の思いやりの心を育む世代間交流事業として、ふれあい将棋大会や箏・フラダンス合同発表会等を実施します。

2 地域福祉推進協議会との連携

3 中村鯉城会との連携

4 同朋大学等との連携

本会と同朋大学のネットワークを拡げて、本館行事へのボランティアの要請や実習の受け入れなどのつながりを構築します。

また、他の大学とのネットワークも構築していきます。

5 保育園との交流会の充実

核家族化が進む中で、高齢者と園児との交流は有意義な事業であり、現在実施している日吉保育園との交流会の回数増や、他園との連携も視野に入れながら拡充します。

6 他施設との連携

地域の施設と連携し、福祉会館利用者のボランティア活動促進や交流を図ります。

【利用促進のための事業】

1 福祉会館めぐり

他の福祉会館との一体的な取り組みとして、複数の館を訪れると各館のオリジナルスタンプ等を取得できるなど、楽しみながら市内の福祉会館をめぐるイベントを実施します。

2 他館とのイベント交流

他館と合同で囲碁、将棋大会や卓球大会など交流を図ります。

(3) 収支計画について

①管理運営にかかる費用等

人件費

安心・安全かつ安定的な施設運営と福祉会館設置目的の達成のためには、人材の定着によるノウハウの蓄積、継続的な育成が欠かせません。豊富な実務経験や必要な資格を持つ職員を配置するための必要な経費については、限られた予算の中で経営の効率性を図ることにより、前回の申請時と同額で計上しています。

物件費

引き続き、適正な経費執行に努めますが、名楽福祉会館は市内で一番利用者が多く、また複合庁舎であり一定の管理費を要することから、サービスの質を落とさないよう必要額を計上しています。事業面については、幼児・児童と高齢者が同じ教室で交流を図る「ふれあい囲碁講座」や高齢者が関心を示しそうな新規行事（体操・レクリエーション、アロマで石けん作り等）について、他の事業よりも多めに予算計上しています。

収支予算

支出

単位（千円）

費目	金額	内訳
人件費	23,081	職員給与、諸手当、法定福利費、退職給与引当金等
物件費	22,056	報償費、需用費、役務費、委託費等
小規模修繕費	550	修繕費

(H28年度予算)